

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

小さな努力をコツコツと久しく積み重ねる

1. 吉田松陰に次のような言葉がある。

誠の一字、中庸もつとも明らかに之を先発す。

読んでその説を考ふるに、三大義あり。

一に曰く実なり 二に曰く一なり 三に曰く久なり

「誠」を実現するには、実（実行）、一（専一）、久（持久）が大切である。一つのことを久しく実行し続ける時に、初めて「誠」の徳が発揚されてくる、というのである。

2. さあ、やるぞ、と心を奮い立たせるのが「発す心」である。やると心に決めたことを実行するのが「決心」である。そして、その決心をやり続けるのが持続心である。発心、決心するが持続しない人は、動き出したと思ったらすぐにエンストを起こす車のようなものである。誰からも見向かれなくなる。私たちは自分をエンストばかりする欠陥車にしてはならない。

3. 小さな努力をコツコツと、久しく積み重ねること。これこそが自己を偉大な高みに押し上げていく唯一の道なのである。

(参考：「致知」2010年12月号)

経営者のための営業学

人気上昇の「0泊2食旅行」

1. 「0泊2食旅行」が30代の女性を中心にブームだという。都心の喧騒から離れて心と体を癒やす旅。ゆっくりと温泉につかっておいしいものを食べる。だが、宿泊はしない。宿泊施設が0泊2食プランを導入するのは、苦しい事情がある。平日の稼働率の低下だ。しかし、平日の稼働率上昇を目当てに、苦肉の策として始めた企画が予想以上に好評を博している。
2. 忙しい人や「女子会」のようなグループでの利用が多いようだ。土日に休めず連休が少ない職の人や親の介護で宿泊できない客層の利用が多いという。平日の集客や新規顧客の獲得に向けた戦いは、レストランによるランチ合戦に近い。顧客からすれば、憧れの宿泊施設を少し安い値段で試せる絶好の機会ともなる。(参考：「日経ビジネス」：2010年9月27日号)

人事・労務について

強みを生かす

(P.F. ドラッカー)

1. 成果をあげるには、人の強みを生かさなければならぬ。弱みを気にしすぎてはいけない。利用できるかぎりのあらゆる強み、すなわち同僚の強み、上司の強み、自らの強みを総動員しなければならない。強みこそが機会である。強みを生かすことは組織特有の機能である。大きな強みを持つ者は、ほとんど常に大きな弱みを持つ。山があるところには谷がある。
2. ドラッカーは、弱みを克服せよとは決して言わない。そのようなことは至難である。たとえ、成功しても、その過程で強みまで危うくする。しかし、組織は、人それぞれの弱みを意味のないもの、たいしたことではないものにすることはできる。組織の役割は、一人ひとりの強みを、共同の事業のための建築用ブロックとして使うことにある。

(参考：「週刊ダイヤモンド」2010年9月18日号)

古典に学ぶ

心を攻める戦略

「用兵の道は、心を攻むるを上となし、城を攻むるを下となす。心戦を上となし、兵戦を下となす」

(訳) 三国志にある言葉ですが、わかりやすく訳してみましよう。

「戦いのやり方は、相手の心を攻めるのが上策、城を攻めるのは下策である。心を戦わせるのが上策、武力で攻めるのは下策である」というのです。

(参考：守屋 洋「リーダーのための中国古典」：日経ビジネス人文庫)